

加圧ストッキングが“低血圧に伴う女性のめまい”に及ぼす影響

愛知医科大学 谷川 徹
(共同研究者) 愛知学院大学 佐藤 孝至
愛知医科大学 田中 弘一
同 植田 広海

Effects of Compression Stockings on the Feeling of Dizziness in Female Patients with Hypotension

by

Tohru Tanigawa, Hirokazu Tanaka, Hiromi Ueda

Department of otolaryngology,

Aichi Medical University

Takashi Sato

Department of otolaryngology,

Aichi Gakuin University

ABSTRACT

Introduction: Recently, the number of female patients complaining of dizziness caused by hypotension have been rapidly increasing. However, there is no effective treatment for managing such symptoms. KAATSU training could improve circulatory dynamics of the patients and reduce their dizziness. The purpose of this study is to investigate the benefits of wearing compression stockings on patient's dizziness accompanying hypotension.

Materials and Methods: Compression stockings were used therapeutically for seven females complaining of dizziness with hypotension for 8 hours per day. Symptoms were evaluated by the visual analog scale (VAS). The objective outcome was also

evaluated by the surface area in posturography.

Results: The intensity of dizziness was significantly improved in five (71%) of seven patients. Surface area in posturography was reduced in three of five patients. Moreover, hypotension itself improved in patient 1 and the orthostatic hypotension improved in patient 7.

Conclusions: These findings indicate that wearing compression stockings is effective for managing dizzy patients with hypotension.

要 旨

目的：低血圧によるめまい、ふらつきを訴える女性が急増している。しかし、このような女性に対して有効な治療戦略はないのが現状である。近年普及し始めた加圧トレーニングは、循環動態を改善し、“低血圧によるめまい”ふらつきを改善させる可能性がある。そこで本研究では、加圧ストッキング着用が“低血圧に伴う女性のめまい”に及ぼす影響について調査することを目的とした。

対象と方法：低血圧に伴う女性のめまい患者7名に1日8時間、加圧ストッキングを着用させた。めまいの改善評価にはVAS法（自覚症状）と重心動揺検査（外周面積の変化）を用いた。

結果：7例中5例で自覚症状の改善が見られ、VASスコア平均でも、着用開始前 5.4 ± 0.8 から着用継続後 2.3 ± 0.9 と、有意な改善が得られた（対応のあるt検定： $p < 0.05$ ）。重心動揺検査でも5例中3例で改善が見られた。さらに、症例1では低血圧自体が改善し、症例7では起立性の血圧低下が改善した。

結論：以上の事実は、加圧ストッキングの着用が低血圧に伴う女性のめまいに有効である可能性を示している。

1. はじめに

筆者の所属する愛知医科大学は名古屋市の東
デサントスポーツ科学 Vol.33

に位置する全国でも有数の神経耳科学専門病院である。多くのめまい患者を診察しているうちに、低血圧によるめまい、ふらつきを訴える女性の症例が増加していることに気づかされた。しかし、このような女性に対して有効な治療戦略はないのが現状であった。

最近、東京大学で起立性の低血圧患者に加圧トレーニングを実施する試みが開始された¹⁾。加圧トレーニングは低血圧に伴うめまい患者の内耳や脳における循環動態を改善し、めまいやふらつきを軽減させる可能性がある。しかし、80ヘクトパスカル（hpa）と高圧をかけて血流を遮断するため、専門の指導員による監視のもとでトレーニングを施行する必要がある。時間や費用がかさむことが難点となる。そこで我々は、市販の加圧ストッキング着用でも、長期にわたり改善しなかった女性の低血圧に伴うめまい、ふらつき、むくみが短期間で消失するのではないかとの仮説を立てた。